

都市再生整備計画

あみとうぶちく
阿見東部地区

いばらきけん あみまち
茨城県 阿見町

平成25年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	茨城県	市町村名	阿見町	地区名	阿見東部地区	面積	477 ha	
計画期間	平成	25 年度 ~	平成	29 年度	交付期間	平成	25 年度 ~ 平成	29 年度

目標 商業・産業・居住空間等の融合による良質で豊かなまちづくり ・優れた景観と高い機能性を有する良好な住環境を形成し、魅力ある豊かなまちづくりによって地域の活性化や土地利用の推進を図る。 ・新旧市街地間のバランスの取れた質の高いまちづくりによって地域の振興を図る。
--

目標設定の根拠 まちづくりの経緯及び現況 本地区は、阿見町の東部に位置し、昭和56年に操業を開始した福田工業団地を始め、阿見東部工業団地、筑波南第一工業団地と3つの工業団地が隣接し、数多くの企業が立地している産業の中核的地区である。また、平成19年に首都圏中央連絡自動車道が本地区の南部に位置する阿見東ICまで開通し、そのIC周辺開発として阿見吉原土地区画整理事業を中心とした新市街地の整備が計画され、これまで本地区の中心であった産業に加えて、商業と居住空間などが融合する資源豊かな地域として大きな期待が寄せられている地区である。 このような中、より良いまちづくりを推進していくため、平成20年度に社会資本整備総合交付金の採択を受け、まちづくりに寄与する複数の事業によって質の高い都市基盤が構築されてきたとともに、平成21年には年間3百万人の集客力を誇る大型商業施設がオープンし、地域の顔となるにぎわいが創出された。 また、これまでのまちづくりによる相乗効果もあり、阿見東部工業団地には11.4haの敷地面積を有する乳製品の製造を主とした大手企業の工場立地が決定した。今後、これらの施設を拠点に、商業・産業・居住空間が連携したまちづくりの進展が期待されている。 しかし、新市街地や工業団地においては未だ土地利用が決定していない区画が多数存在していることから、これらの土地活用を図りつつ、賑わいと活気のある地域づくりを推進していくためには、阿見吉原土地区画整理事業の第2期拡張整備や良質な公園等の公共施設を整備し、魅力ある街並みを早期に形成していくことが望まれている。また、既存市街地においては、新市街地の急速な都市化の影響によって交通問題等が発生しており、地域の振興に大きな影響を及ぼしている状況にある。

課題 ・更なる当地区の活性化を図るためには、商業施設等の企業立地や定住化を促進することが必要であるため、計画的でバランスの取れた公共施設の整備による良好な環境づくりが望まれている。 ・急激な都市化によって既存市街地では交通問題などの様々な課題が生じていることから、早急な安全性強化などの対策が求められているとともに、将来的な課題についての対策を検討していく必要がある。

将来ビジョン(中長期) 【阿見町5次総合計画】 市街地形成 本地区内にある阿見吉原地区においては、阿見東ICの波及効果を生かした都市機能を発揮しながらも、自然環境に配慮した、緑あふれる良好な市街地形成を促進します。 公園緑地 身近な公園・緑地の整備として、地域のニーズにあった愛着のある公園・緑地とするために、町民参加によるワークショップを活用し、地域が主体となった公園づくりに取り組みます。

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
まちづくりに対する満足度	%	アンケート調査によりまちづくりに対する満足度を計測	質の高いまちづくりにより住民の満足度向上を図る。	57.4	H24	79.4	H29
建築件数	件	阿見吉原土地区画整理事業地内(東工区)における企業や住宅の建築件数を計測	良好な住環境の形成により建築件数の増加を図る。	16	H24	60	H29

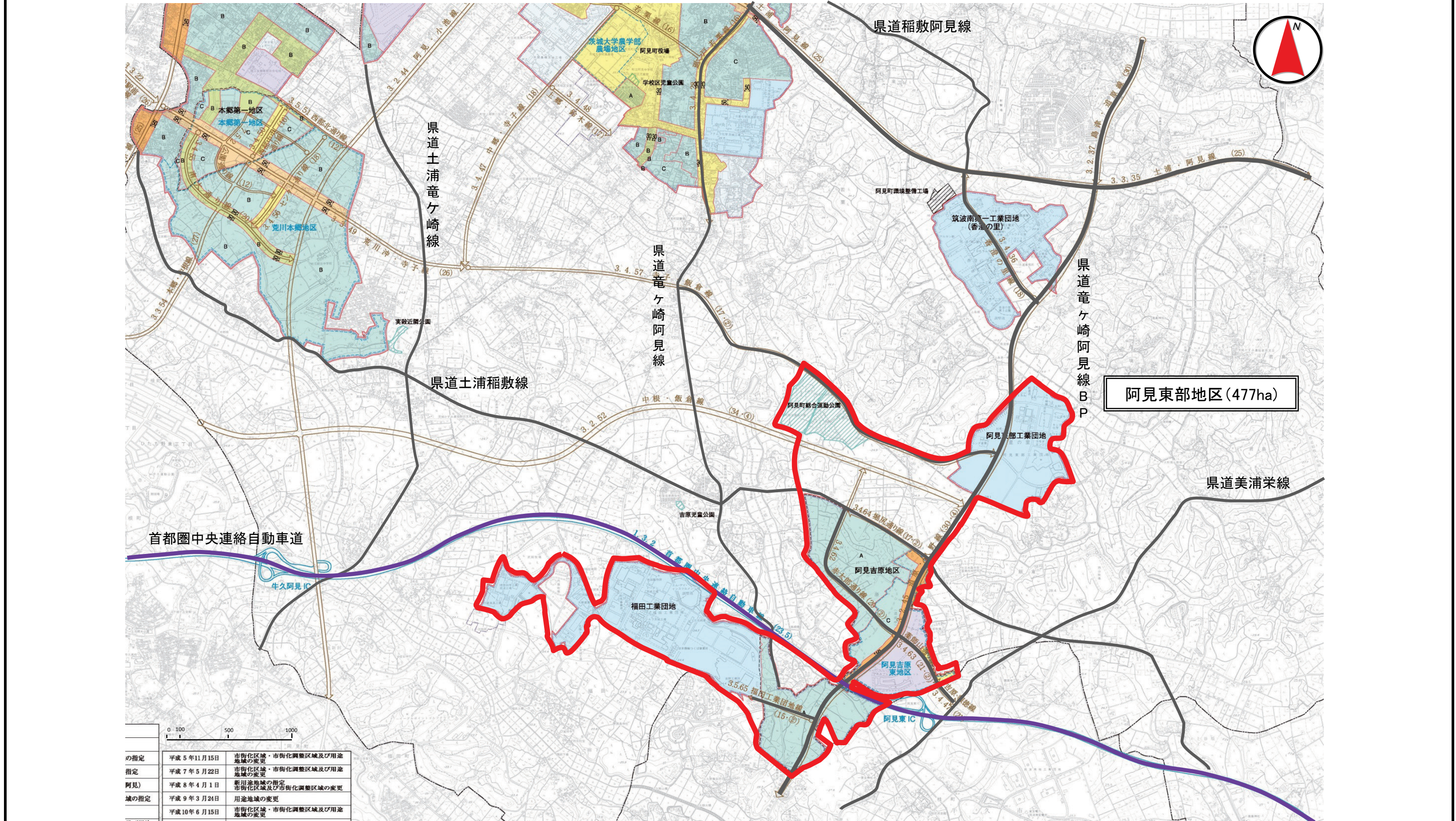
都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>景観に配慮した機能性の高い良好な住環境の形成による魅力的なまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊かな自然環境を活かした緑のネットワークを構築し、景観や憩い、安らぎなどに配慮した魅力ある町並みを形成することによって、商業施設等の増進や定住人口の増加を図る。 ・防災対策などの生活の向上に寄与する事業によって、豊かで機能性の高いまちづくりを創出する。 	<p>○基幹事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路事業 歩行者専用道路整備 ・公園事業 吉原近隣公園整備 ・公園事業 街区公園整備 ・生活基盤整備施設事業 緑地整備 <p>○提案事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域創造支援事業 町界町名地番整理 ・事業活用調査 事後評価支援業務
<p>新旧市街地間のバランスの取れた安全で質の高いまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活道路等の地域の基盤となる施設を整備し、安全性の高い環境を提供するとともに、新・旧市街地間のネットワーク強化によって利便性の向上を図る。 ・新旧市街地の融合による相乗効果を高めるため、地域のまちづくり方針等について調査・検討を実施する。 	<p>○基幹事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路事業 町道0207号線(道路修繕) <p>○提案事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業活用調査 地域づくり調査検討業務 ・事業活用調査 事後評価支援業務
<p>その他</p> <p>広域道路網の構築及び良好な街並みの形成 広域道路ネットワークを構築するために、本地区の南北を縦断する主要幹線道路「県道竜ヶ崎阿見線バイパス」の整備促進を図る。また、より良い沿道景観の推進を目的に、景観に関する基準等を定めていく。</p> <p>地域等との連携 公共施設等の良好な景観を維持するため、地域と連携を図りながら適切な管理を行っていく。</p> <p>事業効果発現の確認 事業の進捗及び効果を確認するため、中間評価(モニタリング)を行う。</p>	

都市再生整備計画の区域

阿見東部地区(茨城県阿見町)	面積 477 ha	区域 茨城県稲敷郡阿見町大字上条、大字星の里、大字若栗、大字飯倉、大字小池、大字福田、大字吉原の各一部
----------------	--------------	--

※ 計画区域が分かるような図面を添付すること。



あみとうぶちく いばらきけんあみまち
阿見東部地区(茨城県阿見町) 整備方針概要図

目標	商業・産業・居住空間等の融合による良質で豊かなまちづくり	代表的な指標	まちづくりに対する満足度 (%)	57.4	(25 年度) →	79.4	(29 年度)
			建築件数 (件)	16	(25 年度) →	60	(29 年度)
			()		(年度) →		(年度)

